

精巣癌の治療成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年7月20日～2025年12月31日

〔研究課題〕

精巣癌の治療成績に関する多施設共同研究

〔研究目的・意義〕

精巣癌は、精巣から発生する悪性腫瘍です。約30%の患者さんは転移を有する進行期に発見されます。たとえ転移を有していても全身化学療法により多くの場合は治癒しますが、化学療法に抵抗性を示す場合にどのような治療を行うべきか、またどのくらい長生きできるかは十分には分かっていません。このような臨床的な問題点を解決するためには、過去のデータを詳細に調査して結果を検証することが重要です。しかし精巣癌は比較的まれな疾患であり、単一の施設で十分なデータを得ることは困難です。そこで今回、東京大学医学部を中心とした多施設での調査を企画しました。精巣癌の組織型別の発生割合や、治療成績・合併症・生命予後などを明らかにすることを目的としています。

〔対象・研究方法〕

これまでに該当施設で精巣癌の治療を行った方が対象に、カルテ情報、CT・MRIなどの画像情報、血液データ、手術病理組織検査情報などを調査します。既存の診療情報をカルテから調査するのみで、新たな実体験は伴いません。予定されている参加施設は当科に加えて、帝京大学医学部附属病院、および杏林大学医学部附属病院です。およそ当科で50例、全体で200例の研究規模です。施設間での資料(試料)等の授受は個人の分からない状態にした状態で各施設の責任者から研究代表者に送られ、解析されます。他の研究参加者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲で、研究参加者が研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手(または閲覧)できます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座 責任者：中川徹(泌尿器科学講座主任教授)

杏林大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特定可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

研究分担者: 金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座講師)

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [泌尿器科内線 33709]